

第3回 庄戸トンネル施工技術検討会

議事要旨

日 時：平成29年9月28日（木）13：00～14：30

場 所：株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング本社会議室

出席者：今田徹委員長、真下英人委員、砂金伸治委員、伊藤哲男委員（欠席）、
大津敏郎委員、山田隆昭委員

議 題：

- ・地質状況
- ・釜利谷ジャンクション Cランプトンネル掘削状況
- ・施工方法の確認
- ・地下水の変動抑制対策
- ・施工中の観測計画

議事要旨： 資料の内容について説明を行い、下記の意見等があった。

《釜利谷ジャンクション Cランプトンネル掘削状況に対する意見》

- ・野島層の掘削状況から、掘削時の内空変位も軽微であり切羽の押出しも無く、湧水も滴水程度であり、地山は自立性が高く安定している。
- ・分合流部の地盤は第2回検討会で想定された地盤条件に近い。Cランプトンネルでの知見を分合流区間の設計施工に反映させることが重要である。

《施工方法の確認に対する意見》

- ・分合流区間において、パイロットトンネル掘削時に基盤層の地耐力など設計条件と現地条件を確認することが望ましい。

《地下水の変動抑制対策・施工中の観測計画に対する意見》

- ・地盤改良は、地盤の安定性と工事中の止水性向上を確実に図るため、地上からの高圧噴射攪拌工法を採用する。
- ・地盤改良による一時的な地下水位の低下対策として、復水井（リチャージウエル）を設置する。
- ・地表面高さ測定及び地下水観測は、トンネル近傍だけでなくトンネルの影響がないと考えられる箇所でも実施し、トンネルの影響がないか把握に努める。

以 上